

# PowerPointによるクイズ教材の作成

担当: 高橋参吉(NPO法人 学習開発研究所)

## 実習内容

- スライド教材の構成
- スライド作成、画像の挿入
- 動作ボタンの設定
- 効果音の挿入
- 演習課題

## 引用・参考文献

高橋参吉編著、高橋朋子、下倉雅行、小野 淳、田中規久雄: 教職・情報機器の操作  
～ICTを活用した教材開発・授業設計～、(3章3節)、コロナ社(2021.2).



# クイズ教材の例(引用・参考文献、p.92～p.98)

問題1 下は、メダカのイラストです。  
どちらがオスで、どちらがメスでしょう。



(1) 左がオス、右がメス

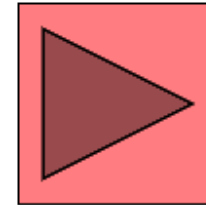


(2) 左がメス、右がオス



1

終了します。  
ボタンを押してください。



2



メダカは水田、池、ゆるやかな流れの小川にすんでいます。観賞用のヒメダカが放流されていることもあります。体長は3～4センチメートルほどで、野生のメダカは透明でやや黒っぽい感じですが、ヒメダカはオレンジ色です。

メダカのオスは、しりとりが平行四辺形でせむれに切れ込みがあります。メスはしりとりが三角形に近い形で、産卵期はおなかはずんぐりしています。

次の問題へ



3



メダカは水田、池、ゆるやかな流れの小川にすんでいます。観賞用のヒメダカが放流されていることもあります。体長は3～4センチメートルほどで、野生のメダカは透明でやや黒っぽい感じですが、ヒメダカはオレンジ色です。

メダカのオスは、しりとりが平行四辺形でせむれに切れ込みがあります。メスはしりとりが三角形に近い形で、産卵期はおなかはずんぐりしています。

次の問題へ



4



## 問題の要素とスライド

### ■ クイズ教材を作成するためには、

- 問題、画像
- 解答、解説

の要素、問題や解答に対応するスライドなどが必要である。

### ■ 「問題」スライド

- 問題文、解答 1 と解答 2 および画像からなる。

### ■ 「正解」「不正解」(解答)スライド

- 正解なら○、不正解なら×を表示し、同時に問題の解説も表示する。

### ■ 「終了」スライド

- 最終問題のつぎにあるボタンを押すと、プレゼンテーションが終了する。

表 3.1 問題の要素

構成スライド	説明
問題	問題文
画像	問題を補助する画像
解答 1	問題の解答で、2 択の選択肢
解答 2	
解説	問題に関する解説文



## スライドの構成

- 「問題」「正解」「不正解」「終了」のスライドは、関連付けされている。
- 「問題」スライドで正解のボタンを押すと、「正解」スライドに移動する。  
不正解のボタンを押すと、「不正解」スライドに移動する。
- 「正解」「不正解」のスライドには、つぎの問題(あるいは、終了)へ移動するボタンがある。

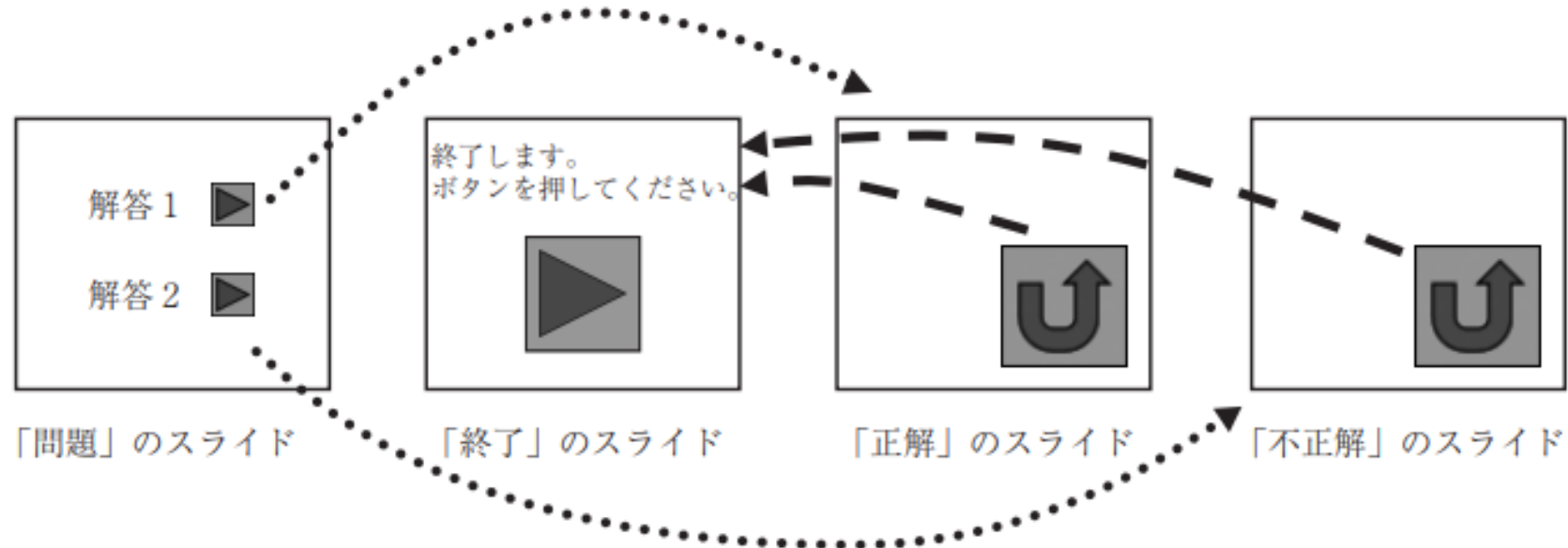
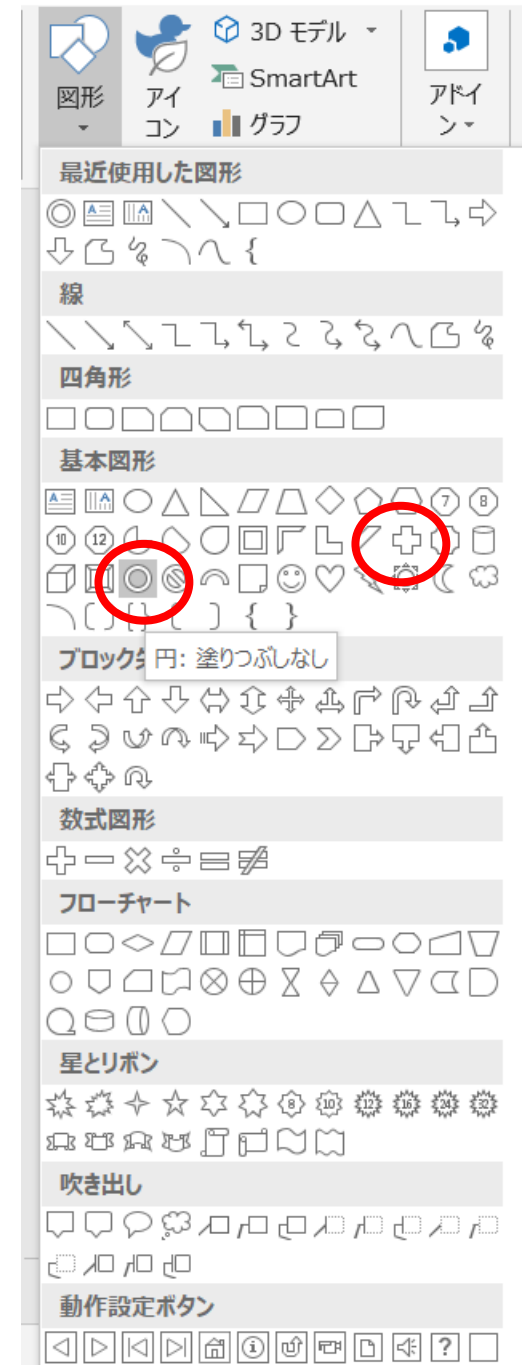


図 3.26 PowerPoint によるクイズ教材の構成



## スライドの作成、画像の挿入

- 「問題」「終了」「正解」「不正解」の4枚のスライドの文書および画像の部分を作成する。
- 3番目の「正解」スライドに「○」、4番目の「不正解」スライドに「×」を貼り付ける。
- 「○」「×」の画像は、[挿入]タブの[図]グループの[図形]を選択し、「基本図形」を利用して作成する。
- 「○」の画像
  - 「基本図形」の[円:塗りつぶしなし]を選択して、「○」を描き、スライドに貼り付ける。
- 「×」の画像
  - 「基本図形」の[十字形]を選択して十字を作成し、その図形を45度回転させて「×」を作成する。



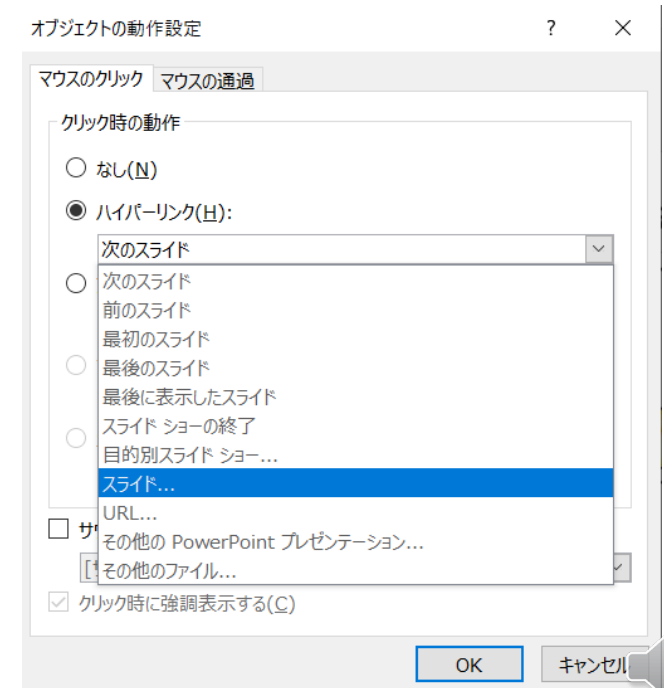
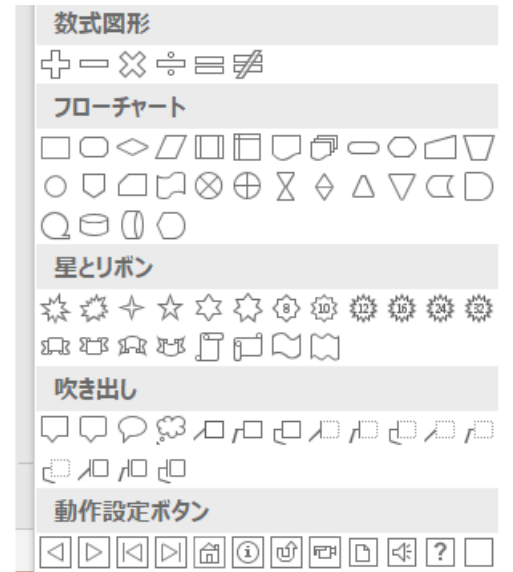
## 動作ボタンの設定

スライドをハイパーリンクさせるために、**動作ボタン**を設定する。

- 「問題」スライドで、[挿入]タブの[図]グループから[図形]を選択する。
- [動作設定ボタン(進む/次へ)]を選択して、動作ボタンを作成する。 →
- [オブジェクトの動作設定]ダイアログが表示される。 →
- ハイパーリンクするための[スライド]を選択する。
  - 「正解」の場合は、「正解」スライドの[スライド3]を選択する。
  - 「不正解」の場合は、「不正解」スライドの[スライド4]を選択する。

2番目の「終了」スライドでは、**終了ボタン**を作成する。

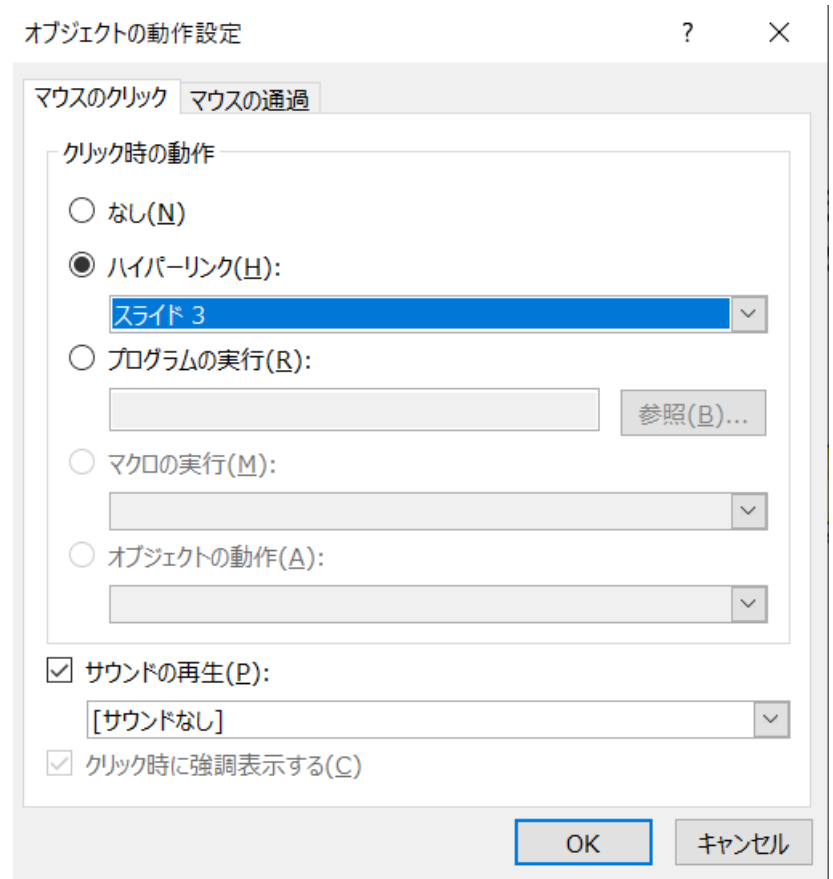
- [オブジェクトの動作設定]ダイアログで、  
ハイパーリンクの**[スライドショーの終了]**を選択する。



## 効果音の挿入

### 「正解」のスライドのサウンドの設定

- 「問題」のスライドにおいて、「正解」の動作ボタンを選択する。
- [挿入]タブの[リンク]グループの[動作]を選択し、[オブジェクトの動作設定]ダイアログを開く。
  - もしくは、図を選択して、右クリックで[リンクの編集]を選択する。
- [オブジェクトの動作設定]ダイアログが表示される。
- [サウンドの再生]にチェック(✓)を入れて、「正解」に対応させた適切な音(\*)を選択する。
  - \* 図では、[サウンドなし]に設定されているが、正解の場合は、例えば、「喝采」など



## 課題演習(1)

- 右図のようなクイズ教材で、間違えば、もう1回やりなおすように「正解」「不正解」のスライドを作成して教材を作成してみよう。

<p>問題1 下はイモリとヤモリのイラストです。 どちらがイモリで、どちらがヤモリでしょう。</p>  <p>(1) 左がイモリ、右がヤモリ  (2) 左がヤモリ、右がイモリ </p>	<p>終了します。 ボタンを押してください。</p> 
<p></p> <p>左の前足4本がイモリで、右の前足5本がヤモリです。 イモリはお腹が赤く、両生類なので濡っています。ヤモリは肌色っぽく、爬虫類なので体も乾燥しています。二匹の覚え方は、水田(井)の害虫を食べる一水田を守ってくれる井守(イモリ)、家屋にいる害虫を食べる一家を守ってくれる家守(ヤモリ)です。</p> <p>次の問題へ </p>	<p></p> <p>左の前足4本がイモリで、右の前足5本がヤモリです。 イモリはお腹が赤く、両生類なので濡っています。ヤモリは肌色っぽく、爬虫類なので体も乾燥しています。二匹の覚え方は、水田(井)の害虫を食べる一水田を守ってくれる井守(イモリ)、家屋にいる害虫を食べる一家を守ってくれる家守(ヤモリ)です。</p> <p>もう1回 </p>





## 演習課題(2)

- 演習課題(1)で作成したクイズ教材で、下の図のような表紙を付けよう。
- 動作ボタン以外をクリックしても、動作しないように設定してみよう。

スライドショーの設定で、「Escキーが押されるまで繰り返す」にし、「自動プレゼンテーション」にしてみよう。



## スライドショーの設定

スライドショーの設定

スライドショーの設定ダイアログボックスのスクリーンショット。ダイアログには「種類」、「オプション」、「スライドの表示」、「スライドの切り替え」、「複数モニター」のセクションがあり、各項目にラジオボタンやチェックボックス、ドロップダウンメニューが配置されている。右下には「OK」と「キャンセル」のボタンがある。

- 種類**
  - 発表者として使用する (フル スクリーン表示)(P)
  - 出席者として閲覧する (ウインドウ表示)(B)
  - 自動プレゼンテーション (フル スクリーン表示)(K)
- オプション**
  - Esc キーが押されるまで繰り返す(L)
  - ナレーションを付けない(N)
  - アニメーションを表示しない(S)
  - ハードウェア グラフィック アクセラレータを無効にする(G)
  - ペンの色(E):
  - レーザー ポインターの色(R):
- スライドの表示**
  - すべて(A)
  - スライド指定(E):  から(I):
  - 目的別スライド ショー(C):
- スライドの切り替え**
  - クリック時(M)
  - 保存済みのタイミング(U)
- 複数モニター**
  - スライド ショーのモニター(O):
  - 解像度(I):
  - 発表者ツールの使用(V)

